

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	鈴木 貞信	会員	13645	事務局整理記入欄	北海道 - 110
分水嶺区分:	H122登川峠~H121	518.2~P488~P477分岐	(3)山	2005年	2月	11・12日	(4)天候 曇小雪:晴れ後曇

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

SL漆崎 隆	13040						
漆崎 裕子	13041						
CL鈴木 貞信	13645						
鈴木 美紀	会友10						
		計	4名		計		名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	H122R274登川峠 542 H121 518.2 P485 P488 P477分岐										
アプローチ:	札幌 R274新夕張 穂別ダム オサワ信号所 R274登川峠										
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N	高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒						
歩行開始点											
分水嶺到達点H122	R274登川峠	長和	142	7	9.2	42	369		10:05	A-1	8
	P542	長和	142	8	43.6	42	549	2/11 15:35	2/12 8:00	B-4	9
H121	518.2	長和	142	8	41.5	42	517	8:25	8:30	B-4	9
	485	長和	142	8	39.0	42	489	10:50	10:55	B-4	9
	441	長和	142	9	1.7	42	439	12:20	12:40	B-4	9
	488	長和	142	9	31.7	42	492	13:55	14:05	B-4	9
分水嶺離別点	P477分岐	長和	142	9	44.3	42	486	14:40	14:50	B-4	9
歩行終了点	オサワ信号所	長和	142	10	31.7	42	236	16:35		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):											12時間30分

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H121	518.2	不明	不明	不明	三角点表示の木製標識があった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

登川峠からP542の下まで、ところどころ分水嶺の近くに林道があった。

(9)水および植生に関連した特記事項

アカエゾマツの若い植林箇所がある他、エゾマツやミズナラ、白樺、ダケカンバなどの広葉樹が多く密集していた。

(10)その他の特記事項

今回はスノーシューでの踏査であったが、それでも樹木が密集している為雪が柔らかく、平均で20cm深いところでは膝まで埋まりラッセルに苦労した。
また、樹木が密集している為分水嶺を見通す事が出来ず、地形図には表れない尾根がいたるところに派生していて、分水嶺を見失いルートから外れる事がしばしばあった。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
H121 518.2にて

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



H121 518.2にて